

講題

「支える側が支えられるとき ～認知症の母が教えてくれたこと～」

講師

ふじかわ こうのすけ
藤川 幸之助 氏



- 詩人・児童文学作家。日本児童文学者協会会員。
- 1962年生。長崎大学大学院教育学研究科修了。
- 小学校の教師を経て、現在は認知症の母親の介護の経験をもとに、命や認知症を題材にした作品を作り続けている。また、認知症への理解を深めるため全国各地で講演活動を行い、詩の朗読を交えた講演は好評を博す。著作に『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）、『支える側が支えられ生かされていく』（致知出版）、絵本『おじいちゃんの手帳』（クリエイツかもがわ）など多数。

母は60歳の時アルツハイマー型認知症と診断され、84歳で亡くなりました。認知症を患ってからの24年間の母の心の不安、忘却への恐怖、病気による混乱とそれを支えた家族の心の葛藤を通して、認知症という病気や介護について、詩の朗読を交えてお話しします。母の介護の日々を振り返ると、母を支えていたとばかり思ってきた私が、実は母に支えられ、育てられていたと深く感じるのです。

日時：2025年7月12日（土）

14：30～16：00（14時～受付）

場所：西神中央ホール 神戸市西区美賀多台1丁目1番1
なでしこ芸術文化センター内

定員：500席 どなたでもご参加いただけます

参加費：無料

お問い合わせ

主催：新生病院神戸市認知症疾患医療センター 神戸市西区伊川谷町潤和字横尾238-475 ☎078-919-1755 FAX078-919-1752

共催：神戸大学医学部附属病院 神戸百年記念病院 宮地病院 神戸市立医療センター西市民病院 兵庫県立ひょうごこころの医療センター 甲南医療センター